



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 GSIクレオス

コード番号 8101 URL <http://www.gsi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中島 浩二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長

(氏名) 大西 文博

TEL 03-5211-1802

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	112,062	2.0	714	6.8	621	10.1	469	104.5
27年3月期第3四半期	109,885	△5.5	668	△50.9	564	△49.1	229	△71.5

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 507百万円 (△38.3%) 27年3月期第3四半期 822百万円 (△49.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	7.30	—
27年3月期第3四半期	3.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
28年3月期第3四半期	70,301		16,205		23.0	
27年3月期	65,885		16,061		24.3	

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 16,155百万円 27年3月期 16,011百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	2.00	2.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	152,000	△1.6	1,100	△5.5	1,000	△1.2	700	24.2	10.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	64,649,715 株	27年3月期	64,649,715 株
28年3月期3Q	432,060 株	27年3月期	423,123 株
28年3月期3Q	64,222,215 株	27年3月期3Q	64,232,961 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. (参考) 海外売上高	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調にあるものの、個人消費の回復は力強さに欠け、原油価格の下落による金融情勢の不安定化や、中国をはじめとする新興国経済の減速など海外景気に下振れ懸念があることから、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は前年同期比2,176百万円、2.0%増収の112,062百万円、売上総利益は、前年同期比365百万円、3.5%減益の10,028百万円、営業利益は、前年同期比45百万円、6.8%増益の714百万円、経常利益は、前年同期比56百万円、10.1%増益の621百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比239百万円、104.5%増益の469百万円となりました。

②セグメント別の状況

<繊維関連事業>

- ・インナー関連は、機能性の高い原糸および生地が大幅な増収となりましたが、利益率は低下しました。企画提案型の婦人ファンデーションは、店頭不振により取引が減少するとともに、原材料や加工賃の高騰により採算が悪化しました。また、ソックスも低採算取引の見直しにより輸入が減少しました。
- ・アウター関連は、米国アパレル向けの生地輸出の取引が好調に推移しました。また、円安の影響を受けている製品のOEM取引は、アウトドア向けが伸長するとともに、採算管理を徹底することで利益率が改善しました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比2,019百万円、2.2%増収の92,474百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比19百万円、4.8%増益の420百万円となりました。

<工業製品関連事業>

- ・塗料・樹脂の添加剤は、欧米やアジア向けが好調に推移し、米国における半導体用途の化学製品の取引も伸長しました。一方、フィルムは、競合先との競争激化の影響を受けて減少し、半導体関連の部材は、円安などの影響を受けてウエハの取扱いが大きく減少しました。
- ・ホビー関連商品は、塗料を中心に堅調に推移しました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比157百万円、0.8%増収の19,587百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比30百万円、5.3%増益の617百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、売上債権の増加などにより、前期末比4,415百万円増加の70,301百万円となりました。

負債は、仕入債務の増加などにより、前期末比4,271百万円増加の54,095百万円となりました。

純資産は、四半期純利益による株主資本の増加およびその他の包括利益累計額の増加により前期末比143百万円増加の16,205百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月15日に公表しました平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一部連結子会社については見積実効税率により税金費用を算定しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が40百万円減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,423	9,114
受取手形及び売掛金	33,601	37,446
商品	10,719	10,259
未着商品	122	30
その他	2,587	2,761
貸倒引当金	△1,122	△1,098
流動資産合計	54,331	58,514
固定資産		
有形固定資産	4,696	4,571
無形固定資産	899	846
投資その他の資産	5,958	6,369
固定資産合計	11,553	11,786
資産合計	65,885	70,301
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,487	31,576
短期借入金	16,104	16,457
1年内返済予定の長期借入金	1,479	560
未払法人税等	134	224
引当金	389	249
その他	2,603	3,541
流動負債合計	48,199	52,610
固定負債		
長期借入金	839	820
退職給付に係る負債	135	140
その他	649	524
固定負債合計	1,624	1,485
負債合計	49,823	54,095
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,186	7,186
資本剰余金	895	855
利益剰余金	7,272	7,419
自己株式	△71	△73
株主資本合計	15,282	15,387
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9	206
繰延ヘッジ損益	6	△65
為替換算調整勘定	687	611
退職給付に係る調整累計額	26	14
その他の包括利益累計額合計	729	767
非支配株主持分	49	50
純資産合計	16,061	16,205
負債純資産合計	65,885	70,301

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	109,885	112,062
売上原価	99,491	102,033
売上総利益	10,394	10,028
販売費及び一般管理費	9,725	9,314
営業利益	668	714
営業外収益		
受取利息	21	19
受取配当金	55	55
為替差益	46	63
その他	85	31
営業外収益合計	208	170
営業外費用		
支払利息	254	219
その他	58	44
営業外費用合計	313	263
経常利益	564	621
特別利益		
固定資産売却益	4	68
投資有価証券売却益	—	1
国庫補助金収入	—	4
特別利益合計	4	73
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	22	15
固定資産圧縮損	—	4
事業撤退特別損失	52	31
その他	0	—
特別損失合計	76	52
税金等調整前四半期純利益	492	642
法人税、住民税及び事業税	249	162
法人税等調整額	12	10
法人税等合計	262	172
四半期純利益	229	469
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	229	469

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	229	469
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	419	197
繰延ヘッジ損益	53	△71
為替換算調整勘定	131	△76
退職給付に係る調整額	△11	△11
その他の包括利益合計	593	37
四半期包括利益	822	507
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	822	506
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維関連事業	工業製品 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	90,455	19,429	109,885	—	109,885
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	106	106	(106)	—
計	90,455	19,536	109,992	(106)	109,885
セグメント利益	400	587	987	(319)	668

(注) 1 セグメント利益の調整額△319百万円には、セグメント間取引消去106百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用212百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維関連事業	工業製品 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	92,474	19,587	112,062	—	112,062
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	7	7	(7)	—
計	92,474	19,595	112,070	(7)	112,062
セグメント利益	420	617	1,037	(323)	714

(注) 1 セグメント利益の調整額△323百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用316百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. (参考) 海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日) (単位:百万円)

	アジア	北米	その他	計
I 海外売上高	52,102	5,694	2,352	60,149
II 連結売上高				109,885
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	47.4	5.2	2.1	54.7

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日) (単位:百万円)

	アジア	北米	その他	計
I 海外売上高	55,621	5,993	2,448	64,064
II 連結売上高				112,062
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	49.6	5.3	2.2	57.2

(注) (1) 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域は以下のとおりであります。

アジア・・・・・・中国、香港

北米・・・・・・アメリカ

その他・・・・・・欧州

(3) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。